

目次

- 1)「オープンハウス型意見交換会」の実施
- 2)意見交換会・アンケートでいただいたご意見
- 3)施設設置イメージ
- 4)現在の碑文谷公園における公民連携 5)今後の予定

このニュースレター及び「碑文谷公園における公民連携の考え方」はこちらからご覧いただけます



1)「オープンハウス型意見交換会」の実施

◇経緯

区では、碑文谷公園の魅力アップと財政負担の軽減を目的に、新たな公民連携の取組を検討しています。これまでのアンケート調査や事業者へのヒアリング、実証実験のイベントを踏まえ「碑文谷公園における公民連携の考え方」を作成しました。皆さまの疑問点やご意見をうかがうために「オープンハウス型意見交換会」を実施しました。

碑文谷公園の将来像

公民連携により目指す碑文谷公園のイメージを以下のようにお示しました。

コンセプト【共生と創造を育む学芸大学のオアシス】

- ・今ある自然環境を生かし、池と緑のより一体的な空間づくりを進め、人と生き物が共生する公園を目指します。
- ・自然と交流が生まれる空間・仕組みづくりを行うことで、地域の新たな魅力を創造する公園を目指します。

水と緑に親しむ公園（公園全体）

下記の計画を基本とし、樹木などについて適切な維持管理を進めます。

「碑文谷公園管理運営計画書※1」 ～人・いまもの共生プラン～碑文谷の池・森を未来に～

「碑文谷公園サクラ再生実行計画※2」 ～池に映える桜の風情、多品種の桜、春の高揚感を再生します～



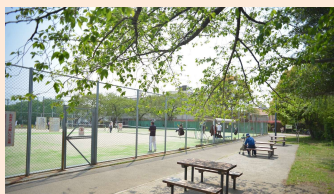
みんなの居場所になる公園

- ・碑文谷体育館及び碑文谷公園のバリアフリー化を推進し、誰もが使いやすい公園を目指します。
- ・ポニー園や体育館事業と連携し、子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりを目指します。



いきいきと体を動かせる公園

今後もより様々な人が運動を楽しむことができるイベントや空間づくりを進めます。



みんなが集い主役となる公園

- ・地域団体や公園運営に係る事業者など、多様な主体が連携した活動やイベントにより、公園や地域の活性化を目指します。
- ・イベントやお祭りの開催時等に活用できる広場などの滞留空間を確保します。



◇オープンハウス型意見交換会概要

【実施日時】：令和6年6/29(土)、6/30(日)10時～15時 【会場】：碑文谷公園こども動物広場横のスペース

【来場者数】：6/29(土) 70人(大人45人、子ども25人) 6/30(日) 81人(大人66人、子ども15人)

【実施内容】：「碑文谷公園における公民連携の考え方」をパネルを展示し適宜説明や質問回答を行いました。

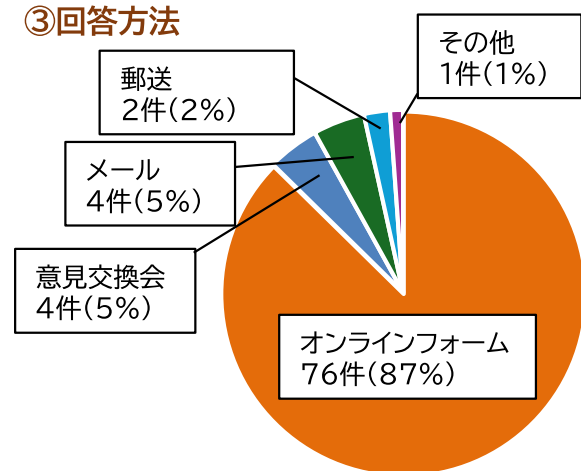
2) 意見交換会・アンケートでいただいたご意見

◇アンケート集計結果概要

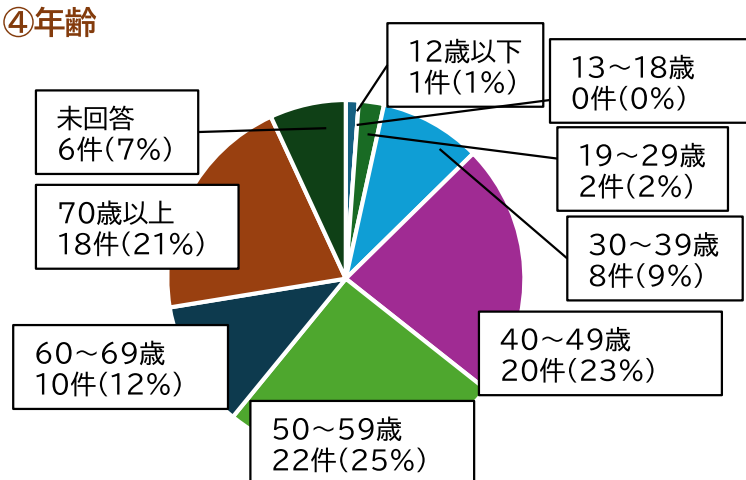
①集計期間：令和6年6月29日～8月15日

②回答者数：87件

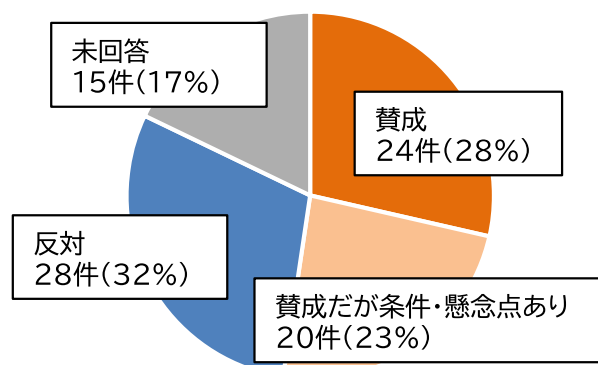
③回答方法



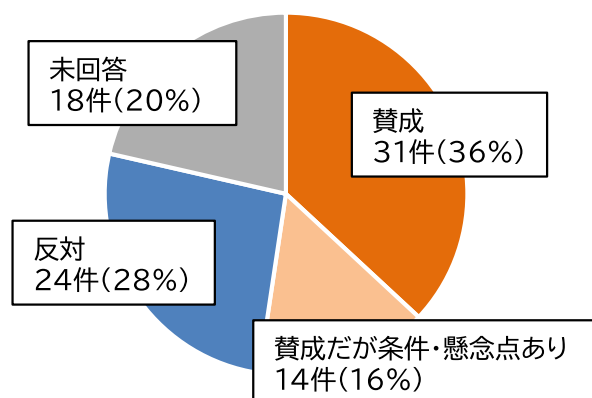
④年齢



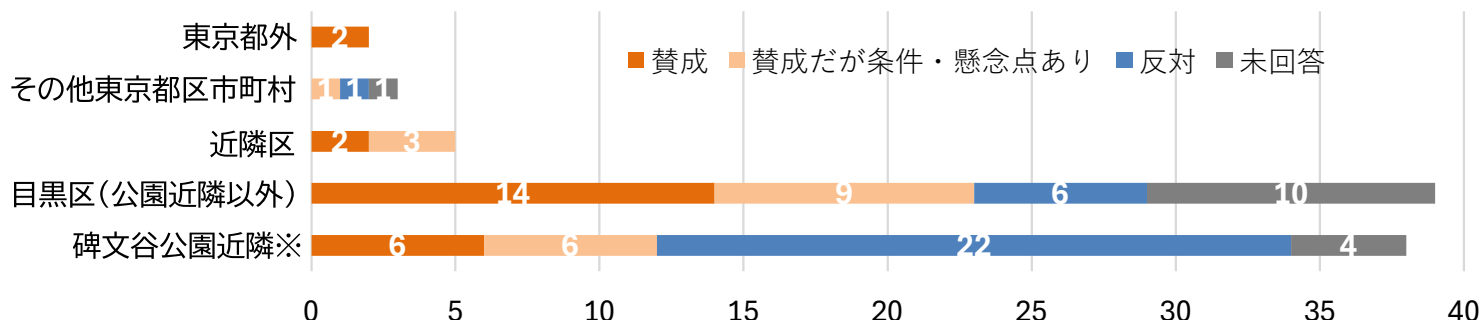
⑤新施設設置への賛否(小動物広場横)



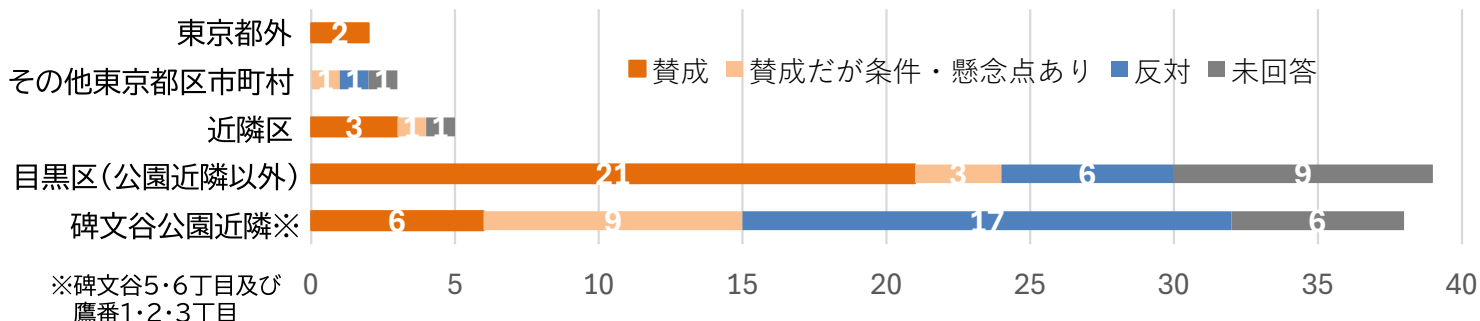
⑥新施設設置への賛否(ボート場)



⑦居住地別の新施設設置への賛否(小動物広場横)



⑧居住地別の新施設設置への賛否(ボート場)



※碑文谷5・6丁目及び
鷹番1・2・3丁目

◇頂いたご意見のまとめ

意見交換会で頂いたご意見(口頭、付箋)、アンケートの自由記述式のご意見を以下にまとめました

新たな公民連携で取り組んでほしいこと

動物広場	動物に触れ合える施設(ドッグラン・ペットカフェ等)	碑文谷公園全体	遊具(種類・数が少ない、砂場の砂の不足、夏場のやけど対策、健康遊具の増設)
	様々な世代も動物と触れ合えるようにしてほしい		園路の整備(木の根や石が出ていて危ない)
	休憩しながら動物を眺められるようにしてほしい		ベンチ(増やしてほしい、日陰・雨避け)
	機能追加(待合・休憩スペースやロッカー、飲食等)		トイレ(もっときれいに、男性用でもおむつ替え設備)
	雨の時にも触れ合えるよう屋根が欲しい		自販機を増やしてほしい
	建物を改築(1階が動物とのふれあい、2階をカフェ)		ゴミ箱の設置、マナー対策(ペット、たばこ、飲酒)
	子ども用設備のあるトイレ		園芸・農業イベント、新たな地元向けのイベント
	幼児と保護者がグループで集える部屋		芝生・広場の改善増設(芝生の草刈り、ピクニックがしやすいように等)
	動物の飼育環境の改善		夜薄暗いので明るくなると良い
	水上カフェ		自然観察できる場所や機会
ボート場	平日も乗れるようにしてほしい	キッチンカー	プレーパーク(どろんこ遊び、木工遊び、ロープ遊び、木にぶら下がるブランコ、ベゴマ)
	券売機のキャッシュレス化		自由広場にじゃぶじゃぶ池
	2階から池を眺められる休憩スペース		ヨガスタジオ、運動教室、ランニングステーション
	餌売り場を作って魚に餌をあげたい		移動式レストランバン
	売店(アイス、かき氷、肉まん、ラムネ、お菓子)		新施設は浄化槽の横や遊具コーナーの向かいがよい
	足漕ぎボート		
	池に迫り出す形でボードウォークが欲しい。		
	全部透明なボートやカヤック		
	水質浄化の取り組み		
	暑さ対策の屋根		

新たな公民連携でやめてほしいこと・懸念点

その他公民連携についてのご意見

施設の設置について	小動物とのふれあいコーナー横とロケット広場の南側の緑地および西側広場もお祭りの範囲である。	その他	地域住民に行政から何の説明もないままに、なんの合意形成もないままに施策を進めないで頂きたい
	新たな施設は不要。今のままの静かな公園がいい		現場を何も知らない人間、コミュニケーションの取れない、取ろうとしない人間を施策に任せないで頂きたい
	常設の施設はやめてほしい。通路がなくなると困る		試算もせず施策を進めないで頂きたい
	営利目的の施設はやめてほしい		収益が生まれず撤退した時のリスクがある
	伝統行事・公園活動に支障が出ないようにしてほしい		飲食施設は区内の業者が良いのではないかな
	施設を建てるなら体育館や運動エリア、花の公園		動物ふれあい広場を有料化(区民は50%オフ)
	施設はなるべく小さく、景観を損なわないもの		今の公園の特徴・良いところを伸ばす事業にするべき
	深夜禁止で6時半から20時が妥当		事業者の選定には社会貢献活動を重視するべき
	イメージ図より大きな施設でないと収益を得られない		事業条件等の提示、区民との丁寧な合意形成が必要
	外部から人をどんどん呼び寄せるのはやめてほしい		できるだけお金をかけずにできること・制度を考えるべき(ネーミングライツ、クラファンなど)
その他	実証実験のようなイベントはやってほしくない	その他	既存施設の位置や存続から検討してもよいのでは
	樹木・自然・景観に配慮してほしい		障害者施設の方々のパンやクッキーを販売してはどうか
	酒類の販売、喫煙		民間と連携するのは賛成
	樹木は切らないでほしい		公民連携ではなく区の税金で公園を良くしてほしい
	臭いや衛生面の考慮して動物エリアと飲食を区分け		SNSを用いてもっと公園の魅力をPRしていくべき
	防犯のために防犯カメラや警備員の巡回		目黒区にある大学と連携してもいいのではないかな
	マイクロプラスチックやPFAS汚染の懸念がある		P-PFI発祥のイギリスでは事業がうまくいかない
	学芸大学の高架下の事業とは一線を画してほしい		子どもの意見をもっと取り入れたほうが良い
	キッチンカー導入も想定と聞いているが日常的な車両の進入は公園の安全を脅かす		

◇懸念点、その他ご意見に対する区の考え方

- ・深夜営業は考えていません。また施設は、最大で150㎡の2階建てとなります。
- ・酒類の販売をする可能性はありますが、その場合は店内利用のみを想定しています。
- ・事業者を選定する場合は公募による事業となります。

3) 施設設置エリア等の検討状況

以下は頂いたご意見を踏まえ、現時点で区が考える施設設置イメージです



4) 現在の碑文谷公園における公民連携

◇碑文谷公園を支える民間団体

NPOスポーツ目黒（指定管理者）	体育館、野球場、テニスコート、ウォーキング
公益財団法人ハーモニセンター（指定管理者）	小動物広場、ポニー広場、引馬
碑文谷もみじの森保育園	保育園
公益社団法人目黒区シルバー人材センター（業務受託者）	清掃、ボート
碑文谷公園くらぶ（公園活動登録団体）	花の公園、話し合う会
碑文谷公園グリーンクラブ（登録ボランティア団体）	池周り西の花壇
碑文谷バラの会（登録ボランティア団体）	池周り東の花壇
厳島神社保存会	厳島神社の維持、管理

5) 今後の予定

区では、公募設置管理制度（Park-PFI）を活用した新たな公民連携を検討していますが、Park-PFIは公民連携の目的ではなく手法と考えております。碑文谷公園における公民連携の内容や手法など、今後も皆様と意見交換の機会を設けながら検討し、碑文谷公園のさらなる魅力アップの実現を目指します。

目黒区

- ・住宅地の中にある公園」の特性をふまえた、将来にわたる魅力の醸成
- ・財政負担の軽減

公園利用者

- ・誰にでも利用しやすく快適な施設環境
- ・飲食の提供

意見の交換が必要

地域住民

- ・静かにすごせる公園
- ・今ある景観や自然を大切に
- ・地域活動の場、お祭り等の伝継承